

2019年 冬（12月～2月）の天候経過

平成31年3月1日
新潟地方气象台

1. 北陸地方の今冬（12月～2月）の特徴

【暖冬・かなりの少雨、かなりの少雪】

12月には日本付近を高気圧と低気圧が次々に通過した。月末は強い冬型の気圧配置が続いたため、荒れた天気や大雪になった所があった。1月は冬型の気圧配置が現れやすく、雪や雨の日が多かったが、強い寒気が南下したのは一時的となったことから、降雪量はかなり少なかった。2月は寒気や発達した低気圧の影響は小さく、冬型の気圧配置は長続きしなかった。上旬から中旬にかけては、雨や雪の日が多かったが、下旬は高気圧に覆われて晴れた日が多かった。2月の降水量はかなり少なく、降雪量もかなり少なかった。

気温は、1月、2月は高かった。3か月平均では高かった。

降水量は、1月は少なく、2月はかなり少なかった。3か月合計ではかなり少なかった。

日照時間は、12月は少なく、1月は多かった。3か月合計では平年並だった。

降雪量は、1月、2月はかなり少なかった。3か月合計ではかなり少なかった。

2. 3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間・降雪量の平年差(比)と階級

北陸地方平均	12月	1月	2月	12～2月
平均気温平年差	+0.5℃	+0.5℃	+1.5℃	+0.9℃
階級	平年並	高い	高い	高い
降水量平年比	96%	84%	58%	82%
階級	平年並	少ない	かなり少ない	かなり少ない
日照時間平年比	79%	106%	106%	97%
階級	少ない	多い	平年並	平年並
降雪量平年比	46%	24%	22%	27%
階級	平年並	かなり少ない	かなり少ない	かなり少ない

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したものです。

3. 月別の天候経過

(12月)【月末は強い冬型の気圧配置となって強い寒気が流れ込み大雪 寡照】

上旬は気圧の谷や冬型の気圧配置の影響で雨や雪の日が多かった。4日は日本海の低気圧に向かって南から暖かい空気が流れ込んで全国的に季節外れの暖かさになった。富山、金沢、輪島でも12月として最も高い最高気温を記録した。上旬の期間の終わりは強い寒気が流れ込んで大雪になった所があった。中旬から下旬の前半にかけては、日本付近を低気圧と高気圧が交互に通過し、低気圧の通過後は一時的に冬型の気圧配置となったため、雨や雪の日が多かった。下旬の後半は冬型の気圧配置が強まり、強い寒気が断続的に流れ込んで、荒れた天気や大雪になった所があった。

(1月)【強い寒気の南下は一時的 高温、少雨、多照、かなりの少雪】

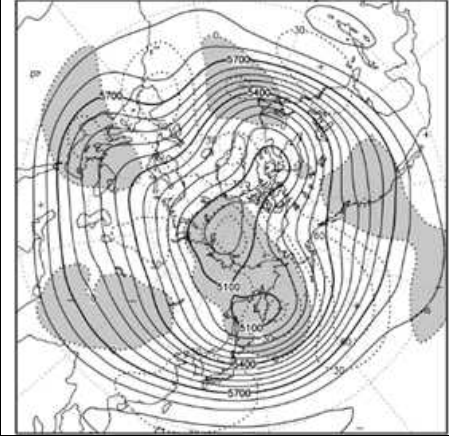
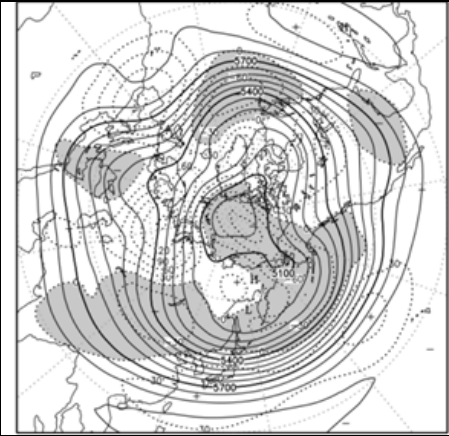
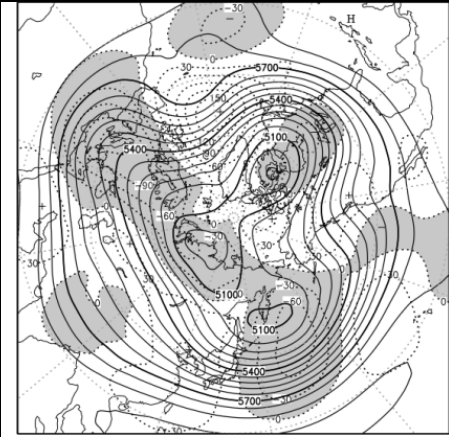
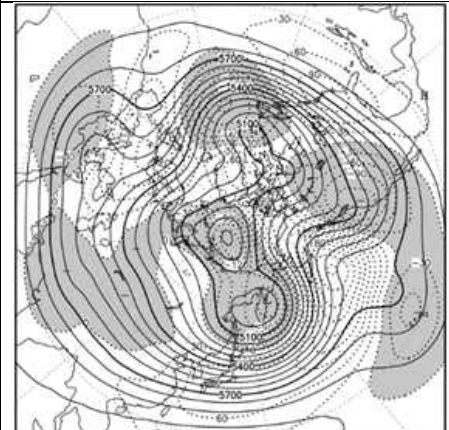
上旬から中旬にかけては、冬型の気圧配置となる日が多く雪や雨の日が多かった。上旬の期間のはじめと終わりは冬型の気圧配置が強まって、寒気が流れ込み、大雪になった所があった。中旬の降雪量はかなり少なかった。下旬は日本海から日本の東にかけて低気圧がたびたび通過し、その後は強い冬型の気圧配置となったため、雪や雨の日が多かった。26日から27日にかけては冬型の気圧配置が強まって、寒気が流れ込み、大雪になった所があった。月の降雪量はかなり少なかった。

(2月)【冬型の気圧配置は長続きしなかった 高温、かなりの少雨、かなりの少雪】

上旬から中旬にかけては、寒気の影響は弱く、冬型の気圧配置は長続きしなかったが、気圧の谷の影響を受けて、雨や雪の日が多かった。上旬の降雪量はかなり少なかった。下旬は冬型の気圧配置は長続きせず、大陸から移動してきた高気圧に覆われて、晴れの日が多かった。下旬は日照時間がかなり多く、降水量、降雪量がかなり少なかった。月の降水量、降雪量はかなり少なかった。

4. 大気の流れから見た今冬の特徴（500hPa 高度合成図）

等高度線（実線）の間隔は60m、ハッチ域（陰影部）は平年より高度が低い部分（負偏差域）、白抜き域は平年より高度が高い部分（正偏差域）にそれぞれ対応している。

	<p>12～2月</p> <p>オホーツク海からカムチャツカ半島付近に極うずが南下しやすく、北日本を中心に強い寒気の流れ込みやすい時期があった。一方、本州以南は高度が高く、暖かい空気に覆われやすかった。</p>
	<p>12月</p> <p>北極付近では高度が低く、寒気は蓄積基調だった。これを取り囲む高緯度帯から中緯度帯では偏西風が蛇行し、高度の高い所と低い所が概ね交互に並んだ。そのさらに南の低緯度帯には高度の高い領域が広がり、沖縄の南から日本の南でも高度が高く、亜熱帯高気圧が強かった。本州付近では偏西風が北に蛇行し、東日本以南は暖かい空気に覆われることが多かった。日本付近の高度は、沖縄・奄美から西・東日本では高い一方で北海道からオホーツク海では低く、平年に比べ南北の高度差が大きく偏西風が強かった。</p>
	<p>1月</p> <p>大陸東岸から西日本付近にかけて偏西風が北に蛇行し、これらの地域では高度が高く、暖かい空気に覆われやすかった。一方、極うずの一部がカムチャツカ半島付近に南下し、偏西風が日本の東で南に蛇行したため、アリューシャン低気圧が強くなり、北日本を中心に冬型の気圧配置が強まり、寒気の流れ込む時期があった。また、本州付近は気圧の谷や湿った空気の影響を受けにくかった。</p>
	<p>2月</p> <p>オホーツク海からカムチャツカ半島付近は極うずが南下しやすく、北日本を中心に強い寒気の流れ込みやすい時期があった。一方、本州以南は高度が高く、暖かい空気に覆われやすかった。</p>

5 参考資料

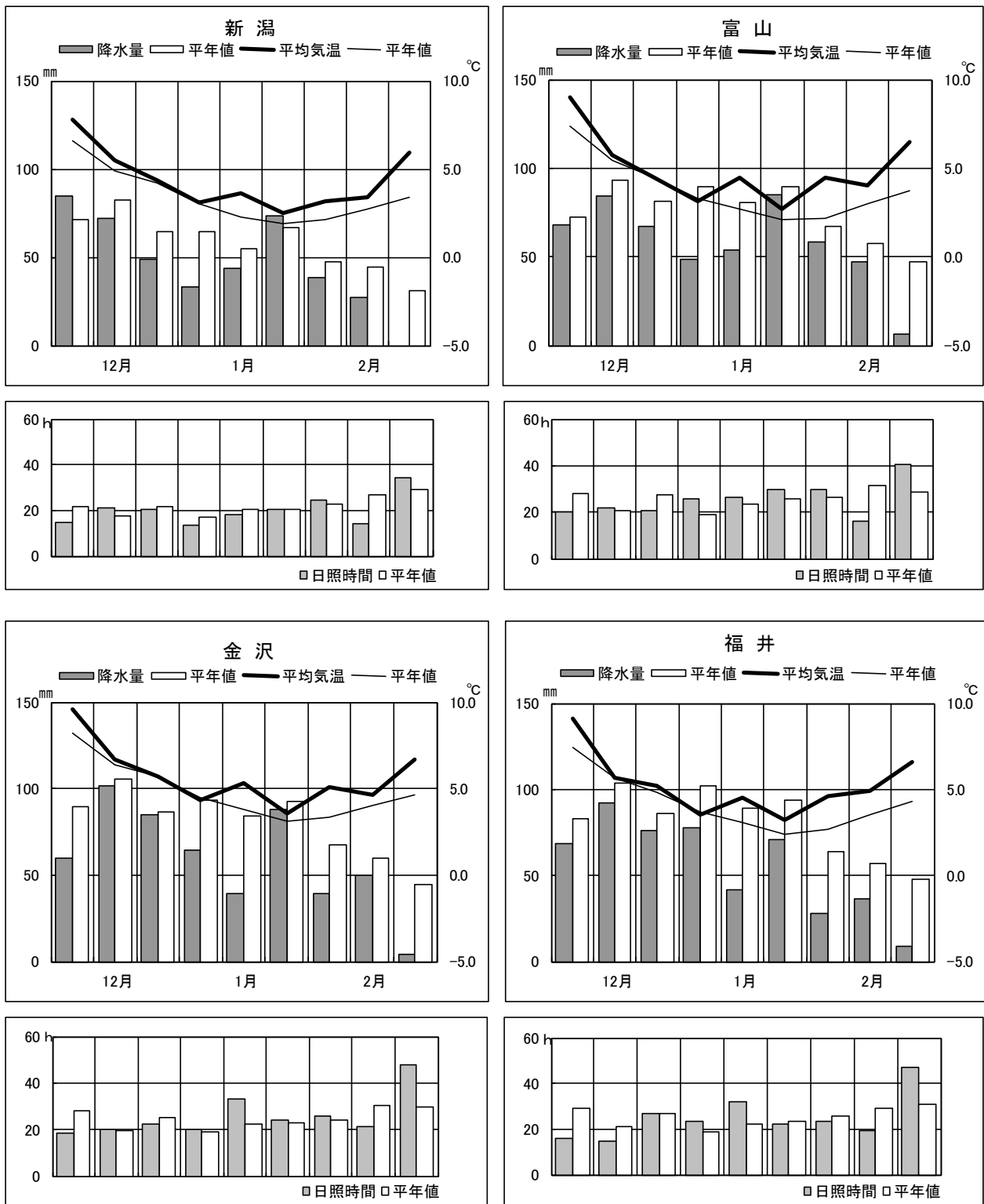


图1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における12～2月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	12月		1月		2月		3か月平均	
	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)
新潟	5.9	+0.7(+)	3.0	+0.6(+)	4.0	+1.3(+)	4.3	+0.9(+)
高田	5.7	+0.4(O)	2.5	+0.1(O)	3.4	+1.0(+)	3.9	+0.6(+)
相川	7.0	+0.1(O)	4.5	+0.6(+)	4.8	+1.0(+)	5.4	+0.6(+)
富山	6.3	+0.6(O)	3.4	+0.7(+)	4.9	+1.9(+)	4.9	+1.2(+*)
伏木	6.1	+0.4(O)	3.2	+0.5(+)	4.7	+1.7(+)	4.7	+0.9(+)
金沢	7.3	+0.6(O)	4.4	+0.6(+)	5.4	+1.5(+)	5.7	+0.9(+)
輪島	6.2	+0.2(O)	3.4	+0.3(O)	4.0	+0.9(+)	4.5	+0.5(+)
福井	6.6	+0.7(O)	3.7	+0.7(+)	5.3	+1.9(+)	5.2	+1.1(+)
敦賀	8.4	+1.0(+)	5.3	+0.8(+)	6.7	+2.0(+*)	6.8	+1.3(+*)
北陸平均		+0.5(O)		+0.5(+)		+1.5(+)		+0.9(+)

降水量	12月		1月		2月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)
新潟	205.5	95(O)	150.0	81(-)	65.5	54(-*)	421.0	80(-)
高田	524.0	124(+)	555.0	132(+*)	233.0	89(O)	1312.0	119(+)
相川	133.5	89(O)	100.0	79(-)	56.0	61(-)	289.5	79(-)
富山	219.0	89(O)	187.5	72(-*)	111.5	65(-)	518.0	76(-*)
伏木	225.5	85(O)	171.5	64(-*)	78.5	48(-*)	475.5	68(-*)
金沢	246.5	87(O)	192.0	71(-)	93.0	54(-*)	531.5	73(-*)
輪島	245.5	97(O)	242.0	114(+)	93.5	66(-)	581.0	95(O)
福井	237.0	87(O)	190.0	67(-)	73.0	43(-*)	500.0	68(-*)
敦賀	319.5	113(+)	195.5	73(-)	75.5	45(-*)	590.5	81(-)
北陸平均		96(O)		84(-)		58(-*)		82(-*)

日照時間	12月		1月		2月		3か月合計	
	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)
新潟	56.6	94(O)	51.9	89(-)	73.1	93(O)	181.6	92(-)
高田	61.8	77(-)	52.9	81(-)	74.1	93(O)	188.8	84(-)
相川	36.0	67(-)	45.8	92(O)	86.6	127(+)	168.4	98(O)
富山	62.2	82(-)	82.5	121(+*)	86.1	100(O)	230.8	101(O)
伏木	59.7	85(O)	78.9	130(+*)	84.1	104(O)	222.7	106(O)
金沢	61.2	84(O)	77.4	122(+)	94.3	112(+)	232.9	106(O)
輪島	38.6	75(-)	41.8	97(O)	73.2	113(+)	153.6	97(O)
福井	57.3	74(-)	77.3	120(+)	89.8	105(O)	224.4	100(O)
敦賀	57.7	75(-)	61.4	99(O)	80.2	105(O)	199.3	93(O)
北陸平均		79(-)		106(+)		106(O)		97(O)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い(少ない), (O) : 平年並, (+) : 高い(多い)

(-*) : かなり低い(かなり少ない), (+*) : かなり高い(かなり多い)

注3) 値の横に「や」がある場合には使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を気象台等に確認して、品質を確かめてください。

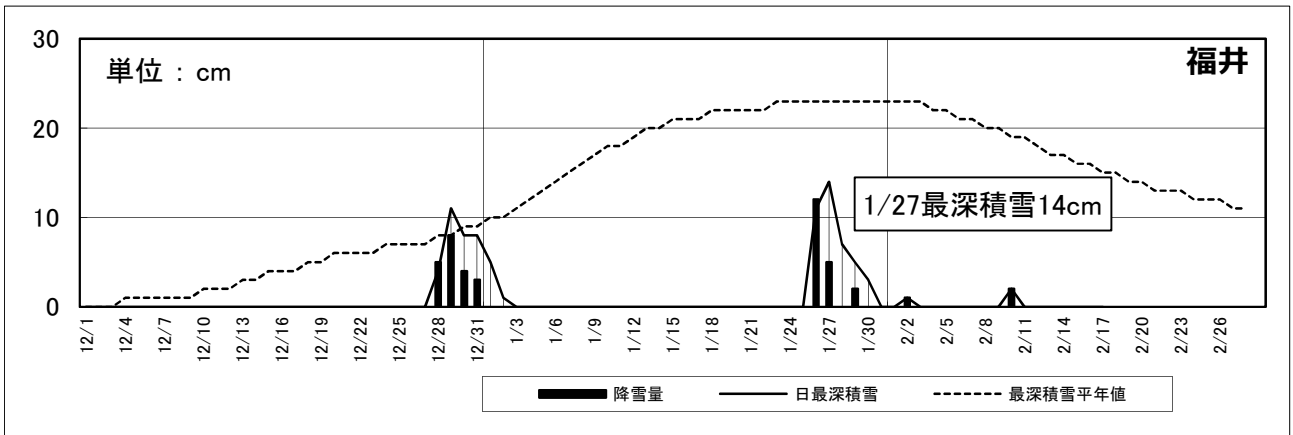
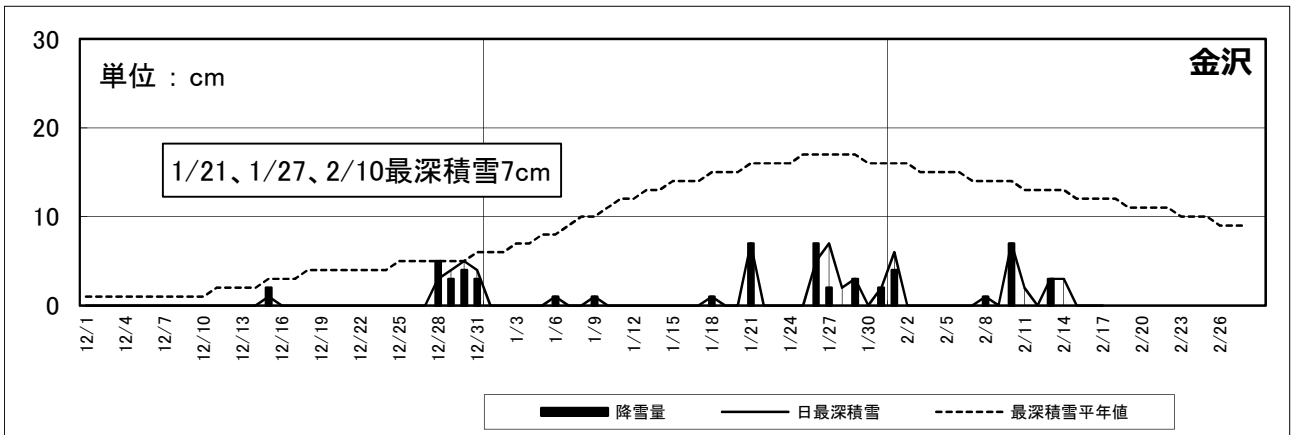
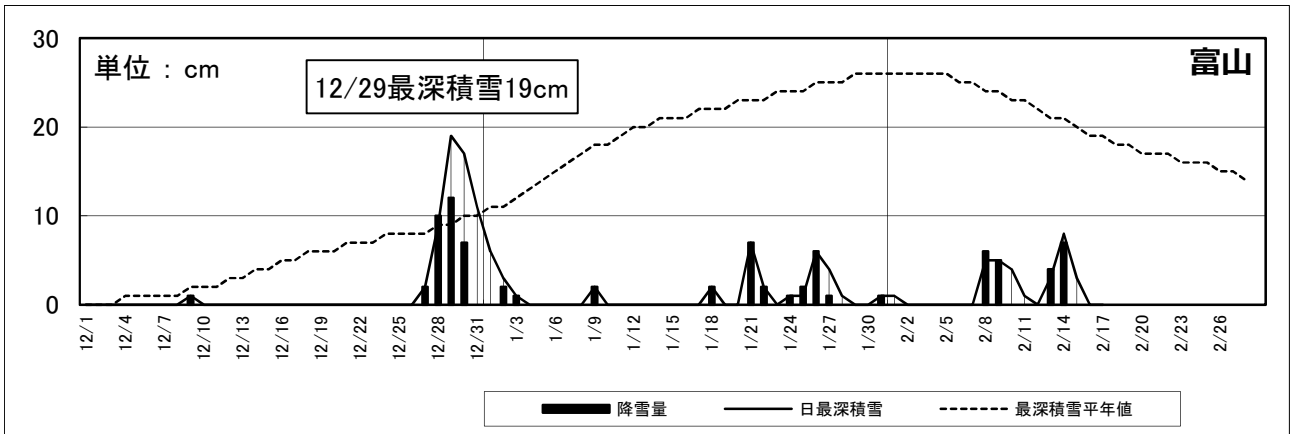
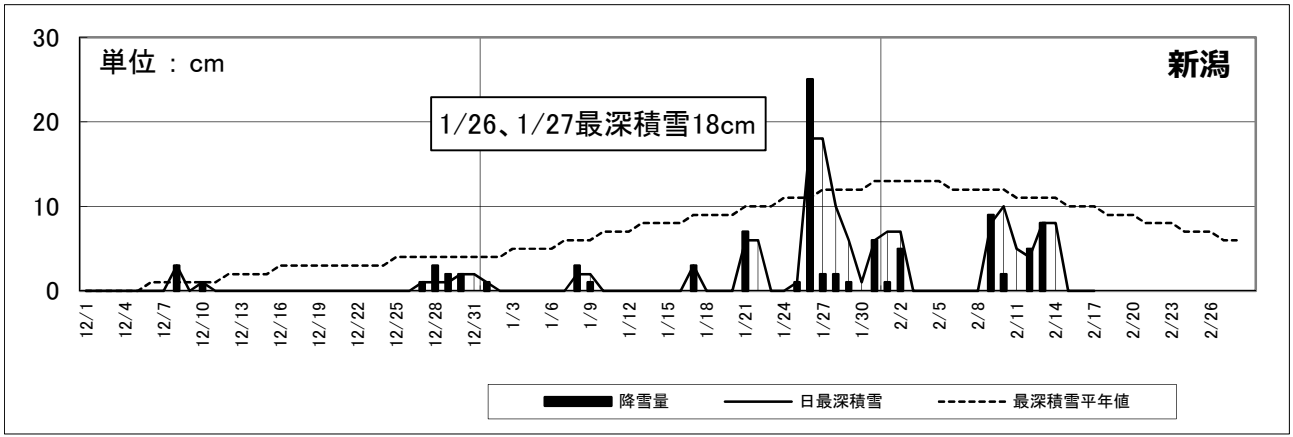


图2 日降雪量・日最深積雪時系列（新潟・富山・金沢・福井）

表2 北陸地方における12～2月の冬日日数・真冬日・雪日数

	冬 日						真冬日		雪 日 数					
	12月		1月		2月		12～2月		12月		1月		2月	
	実況 値	平年 値	実況 値	平年 値	実況 値	平年 値	実況 値	平年 値	実況 値	平年 値	実況 値	平年 値	実況 値	平年 値
新潟	3	5.1	8	16.6	10	15.4	0	1.4	11	13.3	26	22.9	18	20.2
高田	2	6.5	12	18.7	16	19.0	0	1.0	17	-	28	-	17	-
相川	0	2.2	2	9.4	9	10.8	0	0.7	16	-	26	-	16	-
富山	4	4.8	8	15.6	7	16.5	0	1.2	11	9.7	22	19.1	11	16.1
伏木	8	4.7	11	15.2	8	15.7	0	1.3	15	9.2	28	17.9	17	15.3
金沢	1	2.1	5	9.9	8	10.9	0	0.3	11	9.8	20	19.1	10	16.0
輪島	3	4.3	9	14.5	12	16.9	0	0.8	20	-	29	-	20	-
福井	5	3.5	9	12.8	6	14.6	0	0.3	9	9.0	17	18.6	11	15.7
敦賀	0	1.1	1	6.8	1	6.7	0	0.0	9	-	20	-	10	-

※ 高田・相川・輪島・敦賀の雪日数平年値は、観測の自動化に伴う統計の切断により平年値がない。

※ 冬日とは、日最低気温が0℃未満の日。真冬日とは、日最高気温が0℃未満の日。

表3 北陸地方における12～2月の降雪量・最深積雪

降雪量	12月		1月		2月		12～2月	
	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級
新潟	12	40(0)	52	57(-)	30	41(-)	94	48(-)
高田	38	41(-)	129	52(-)	125	65(-)	292	54(-)
相川	5	33(0)	6	13(-)	15	34(-)	26	24(-*)
富山	32	56(0)	27	17(-*)	22	18(-*)	81	23(-*)
伏木	44	81(0)	19	13(-*)	3	3(-*)	66	21(-*)
金沢	17	46(0)	24	20(-*)	15	16(-*)	56	22(-*)
輪島	19	70(0)	20	24(-*)	15	21(-)	54	30(-*)
福井	20	48(0)	19	15(-*)	3	3(-*)	42	16(-*)
敦賀	-	0	3	3(-*)	-	0	3	1(-*)
北陸平均		46(0)		24(-*)		22(-*)		27(-*)

最深積雪	12月		1月		2月		12～2月	
	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級	実況値 (cm)	平年比% 階級
新潟	3	30(0)	18	69(0)	10	36(-)	18	53(-)
高田	21	53(-)	49	50(-)	77	67(-)	77	64(-)
相川	1	17(-)	3	25(-)	6	46(-)	6	33(-)
富山	19	83(0)	7	14(-*)	8	16(-*)	19	31(-*)
伏木	29	126(+)	13	25(-*)	1	2(-*)	29	49(-*)
金沢	5	36(0)	7	18(-*)	7	23(-*)	7	16(-*)
輪島	13	163(+)	8	32(-)	5	20(-)	13	41(-)
福井	11	61(0)	14	30(-*)	2	5(-*)	14	25(-*)
敦賀	-	0	3	8(-*)	-	0	3	6(-*)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い(少ない), (0) : 平年並, (+) : 高い(多い)

(-*) : かなり低い(かなり少ない), (+*) : かなり高い(かなり多い)

注3) 値の横に「や」がある場合には使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を气象台等に確認して、品質を確かめてください。

表4 北陸地方における12～2月の累年極値・順位（3位以内）更新

◎月降水量の少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最少（西暦年） mm	統計開始 年	平年値 mm
2	1	金沢	93.0	54	94.5(2003)	1882	171.9
2	2	伏木	78.5	48	66.1(1887)	1884	164.3
2	2	福井	73.0	43	63.5(2014)	1897	169.7

◎3か月降水量の少ない方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最少（西暦年） mm	統計開始 年	平年値 mm
12-2	2	福井	500.0	68	487.0(2007)	1898	733.4
12-2	3	金沢	531.5	73	480.5(1975)	1883	726.4
12-2	3	伏木	475.5	68	442.5(1979)	1884	695.6

表5 初冠雪

山岳名	観測気象官署	今年	昨年	平年	これまでの最早
立山	富山地方気象台	10.21	10.17	10.8	1981.9.14
白山	金沢地方気象台	11.1	10.26	10.17	1913.9.1

表6 初霜・初氷・初雪

		初霜			初氷			初雪		
		今年	昨年	平年	今年	昨年	平年	今年	昨年	平年
新潟県	新潟	12.2	11.21	11.25	12.2	11.22	12.1	12.8	11.19	11.24
富山県	富山	12.2	11.21	11.20	12.10	11.22	11.27	12.8	11.19	12.2
石川県	金沢	12.2	11.22	12.1	12.16	12.9	12.9	12.8	11.19	11.29
福井県	福井	12.10	11.22	11.24	12.10	11.22	12.2	12.9	11.24	12.2

6. 天候情報発表状況

なし

（注）この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。